

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小田原市	早川・片浦・大窪 (早川・片浦・大窪)	令和3年3月24日	令和3年3月24日

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	241 ha
② アンケートに回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	240 ha
③ 地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	183 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	102 ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	45 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.85 ha
(備考) レモン、湘南ゴールドの生産、ブランド化を促進する。	

2 対象地区の課題

- ・ 傾斜地が多く、耕作が困難な地形が多い。農地が分散しており、非効率的である。
- ・ 農地の多くを樹園地(約86%)が占めるが、果樹の耕作放棄地は原状復帰が困難で、農地の集約化が進まない。
- ・ 70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の合計は102ha(約42%)であるが、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は3.85haである。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・ 畑利用については、中心経営体である認定農業者4経営体、認定新規就農者1経営体が担っていく。樹園地利用については、中心経営体である認定農業者9経営体、認定新規就農者2経営体が担っていくほか、柑橘を中心とした認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。